

6 教育条件の整備

(1) 教職員の資質能力の向上と教職員の適正配置

今後、特色ある学校づくりを一層進めていく中で、様々な教育課題に対応するとともに、多様な生徒に応じて、一人ひとりの個性や能力を生かした教育を推進していくためには、教職員の資質能力の向上と教職員の適正な配置が不可欠であり、こうした人的な面での教育条件の整備を引き続き進めていきます。

【教職員の資質能力の向上】

教職員の資質能力の向上のためには、研修が極めて重要な役割を担っており、教職員が生涯にわたって資質能力の向上を図るという前提に立って、すべての教職員に共通に求められる基礎的・基本的な資質能力を確保するとともに、各教職員の得意分野づくりと個性の伸長を進めることが大切です。

- 26 初任者研修
p32 語句の説明
- 27 10年経験者研修
p33 語句の説明
- 28 ライフステージ
p33 語句の説明

このため、今後、教育研修所を中心に実施している初任者研修、10年経験者研修、希望研修などの「集合研修」、国の教員研修センターや大学、教育研修所等に中堅教員を派遣して実施している長期、短期の「派遣研修」、各学校や教職員がそれぞれの教育目標や教育課題に応じて行う「校内研修」、「自己研修」など、様々な形態で実施している教職員研修全体をライフステージに応じて体系的に整備し、各段階において計画的に研修を実施するとともに、研修内容の改善・充実を一層推進していきます。

【教職員の適正配置】

今後、学校・学科の再編整備などを通じて、特色ある学校づくりを一層進めていく中で、生徒の確かな学力の向上を図るとともに、指導上の課題などに対応していくため、全体的視野に立って、学校の特色に応じた教職員の適正配置に努めていくとともに、教職員の資質能力をライフステージに応じて向上させることができるような人事配置を推進します。

(2) 学校の施設設備の整備

安全で快適な学校生活を送ることができるよう、老朽校舎等の改築や耐震性能の向上を図るための補強工事、バリアフリー化の推進など、時代の要請や様々な生徒のニーズに対応した学校施設

29 バリアフリー化
p33 語句の説明

の計画的な整備を進めます。

また、教育内容・指導方法の多様化や国際化、情報化などに対応した施設・設備の充実に努めます。

(3)その他

再編整備の実施にあたっては、通学の便宜が図られるよう関係交通機関等への働きかけを行うとともに、奨学金制度の周知・拡充などの支援について検討します。